



万田坑市民ガイド
荒木睦史さん (緑ヶ丘)

▲玉名工業高等学校で地理を教えています。趣味のカメラを生かしたガイドを目指し、奮闘中です

炭鉱の歴史を伝えたい

ことしの6月から万田坑市民ガイドの養成講座を受けています。

時代の流れで生活スタイルが変わるのは仕方のないことです。しかし、三池炭鉱は日本の産業を支える重要な役割を持っていました。今の日本の発展の礎となった炭鉱の歴史を特に若い人たちに伝えていきたいです。

自分で撮影した炭鉱関連の写真や古い当時の写真を使いながら、ガイドをしたいと考えています。元炭鉱マンの皆さんのガイドに比べたら、重みが足りないかもしれません。けれど、仕事の合間に資産に足を運んだり、本を読んだりして、一生懸命、勉強しているところです。自分にできる範囲で、ガイドとして、少しでもお客さんをおもてなしできるように頑張ります。

23の資産を知ってほしい

産業遺産は経済活動と共にあるので、通常は炭鉱が閉山してしまうと、炭鉱関連の施設はなくなってしまいます。しかし、閉山時に荒尾の皆さんが万田坑を保存するという決断をしてくれたおかげで、炭鉱で生きた人々の記憶をとどめながら、万田坑は今も残っています。とても価値のあることだと思います。

万田坑を含む「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」は23の構成資産からなります。荒尾の皆さんには自分のまちにある資産だけでなく、他の22の資産も知ってほしいと思います。他の資産に目を向けることで、歴史上、万田坑がどのような役割を果たしたのか見えてくるはずです。

これからも県は万田坑を精一杯応援していきます。ぜひ、皆さんも明治日本の産業革命の物語に触れてみてください。



熊本県庁 文化企画・世界遺産推進課
沖謙介さん

▲学術調査・検討、周辺環境の整備などを通して、県は万田坑を応援しています



炭鉱の歴史を守る

人たち

荒尾市内外に万田坑の世界遺産登録を応援してくれた人たちがたくさんいます。その一部の人をご紹介します。

14年前から荒尾と大牟田のまちの風景と心象を次世代へ継承しようと活動しています。荒尾や大牟田の炭鉱関連施設を巡るウォーキングマップを作ったり、炭鉱関係のイベントの企画や補助などを行ったりしています。荒尾と大牟田の炭鉱の歴史を結びつけることで、まちづくりをするのが私たちの目標です。荒尾も大牟田も元気になれるよう、取り組んでいきます。

炭鉱は荒尾や大牟田のまちそのものを作り上げましたが、事故などの悲しい出来事もありました。けれど、それは物事の光と影の側面だと感じています。これからも炭鉱に携わった人たちの息遣いをガイドや聞き取りなどの活動を通じて、ありのままに伝えていきます。

炭鉱のまちの風景と心象を次世代へ



NPO法人
大牟田・荒尾炭鉱のまちファンクラブ

▲会員募集中です。詳しくはファンクラブホームページをご覧ください。10月24日(土)、午後1時30分～鉄道敷き跡の除草作業と万田坑見学会を開催。申込締切：10月16日(金) 炭鉱のまちファンクラブ ☎0944-52-7026

炭鉱時代の憩いの場を美しく



万田公園を守る会

▲3～11月までの毎月第1日曜、午前8時から活動しています。来られるときだけでもいいので、興味のある人はぜひお越しください。 前田 ☎64-0015

4年前から井手川地区と辻町の住民や業者などで万田公園の除草作業を行っています。

昔、万田公園にはグラウンドやプールがあり、炭鉱で働く人やその家族の憩いの場になっていました。現在でもプールの跡は残っています。万田坑を訪れる観光客の中には、万田公園を見学する人も大勢います。炭鉱が栄えていた頃、公園に遊びに来ていたようで、「懐かしい」と言って、皆さんとても喜ばれます。

万田坑周辺に住む私たちは、何らかの形で炭鉱に関わり、石炭のおかげで生活することができました。健康維持も兼ねて、和気あいあいと活動に励み、地域を盛り上げていきます。